

芦別市民憲章

(昭和43年9月20日制定)

明治の代、今の常磐町に第一のくわ音が立ちました。芦別誕生のうぶ声でした。それから代々の人たちが努力を重ね、美しい郷土をつくりました。

それをたたえ感謝するとともに、さらに立派にして次代へ渡したいものです。私たちは、この憲章をかかげて、日常生活の心がまえといたしましょう。

- 明るい家庭をつくり こどもに夢と誇りを持たせましょう
- 人間の尊さを知り 社会のきまりを守りましょう
- 郷土の自然を愛し 豊かなまちをきずきましょう
- 思いやりと親切で 住みよいまちにいたしましょう
- 教養を深め 体力を養い 文化の輝くまちをつくりましょう

市の紋章



- ◆ 外型をなしている星型は北斗星の輝く北海道を表します
- ◆ 星型を形成する5個の菱形は黒ダイヤを表します
- ◆ 菱形の放射状配置は発展を表します
- ◆ 芦別市の頭文字「芦」字を四角の中にきれいに納めているのは、区画整理の整った大都市計画を表します
- ◆ 芦別市の「別」字の円型は市民の一致団結と円満平和を表します

市の花・木・鳥



市の花『ユリ』

ユリは、山野に自生し、独特の甘い香りと気品のある花姿から、ウェディングフラワーとして人々に愛されています。

芦別市は、ユリ根栽培が盛んで全国に出荷し、古い歴史と伝統がある代表的な特産品で知られることからユリを市の花に選定しました。



市の木『ミズナラ』

ミズナラは、芦別川の流域に生立する芦別の森を代表する銘木の一つで、その材は色が白く光沢がすぐれているため、古くから木材、木製品の輸出材として珍重されています。

また、その実は「どんぐり」の愛称で呼ばれ、木とのふれあいを通じ、自然を慈しむ心を養い、将来を担う子供たちの夢の木として、ミズナラを市の木に選定しました。



市の鳥『シジュウカラ』

シジュウカラは、秋から春にかけて人家の庭先で見られ、平地から山地の林で生息しています。

小さいが凛々しさがあがり、いつでも身近で見られる親しみのある鳥として、シジュウカラを市の鳥に選定しました。